



日本基督教団 教会創立 125 周年特別企画
札幌教会 木曜講座

この地で私たちの先輩がキリスト教を伝道して150年余りがたちました。日本基督教団 札幌教会は今年で教会創立125年を迎えます。今回そのことを記念して次のような特別企画を立てました。是非お出で下さい。お待ちしております。

2014年 <木曜講座> 14:00~16:00

場所 札幌教会 明星館2階ホール(中央区北1条東1丁目3)

第1回 7月 3日 大濱ゼミ(1) 「歴史を読み解く作法 時を貫く記録が語る世界からー」 講師 大濱徹也先生
第2回 7月17日 中原ゼミ 「TPP(環太平洋連携協定)交渉をどう見るか」 講師 中原准一先生
第3回 9月11日 佐藤ゼミ 「一碗で心豊かなひと時を」 講師 佐藤國彦先生
第4回 9月18日 大濱ゼミ(2) 「文明との出会い キリスト教はどのように受け止められたか」 講師 大濱徹也先生
第5回 10月16日 大濱ゼミ(3) 「原野に生きた人びと 信心・信仰が問いかけたこと」 講師 大濱徹也先生
第6回 10月30日 下村ゼミ 「認知症あれこれ」 講師 下村笑子先生
第7回 11月20日 大濱ゼミ(4) 「キリスト者の相貌 佐藤昌介・内村鑑三・新渡戸稲造をめぐり」 講師 大濱徹也先生

各講座とも先着50名とさせていただきます。

講座参加希望者は参加申し込みを官製葉書かFAXまたはメールにてお申込みください。

それぞれ、出席希望を明記し、氏名・年齢・住所・連絡先(電話番号)をお書きください。

葉書宛先 日本基督教団 札幌教会 〒060-0031 札幌市中央区北1条東1-3

FAX 011-221-2444

Mail-ad txuxa@sonata.plala.or.jp

参加費(資料代等)各講座1回毎に500円をお願いいたします。

《講師紹介》 講師が語る「講座内容」



・大濱徹也 先生 筑波大学名誉教授・文学博士

「北緯43度から日本を問いただす(4回)」

日本の歴史とは何なのでしょう。北緯43度線にある北海道から見てくる歴史を読み解くことで、現在(いま)何が問われているかを共に考えてみませんか。

わたしたちの歩みは、預言者エレミヤが「主よ、わたしは知っています。人はその道を定めえず歩みながら、足取りを確かめることもできません。」(10-23)と問いかけていますように、闇に覆われています。それだけに明日に向かって生きていく己の足取りをすこしでも確かなものとするために、現在(いま)生きて在る場から歴史と向き合いませんか。

・中原准一 先生 札幌大谷大学社会学部教授・酪農学園大学名誉教授・農学博士・札幌教員

「TPP(環太平洋連携協定)交渉をどう見るか」

日本の食糧自給率は40パーセントを切っています。その中で北海道の食糧自給率は200パーセントと全国一を誇っています。我が国の食料はその多くを輸入に頼っているのが現状です。その中で現在注目されているTPPの問題は農業・酪農に従事する方々だけの問題ではなく、私たち自身の生活全般に関わって来ることなのですが、その交渉は秘密交渉なので実際は良く分からないのです。TPPの交渉テーマは、(1)関税撤廃と(2)非関税障壁(貿易や投資ルール)の取り扱いの二つで21分野に渡ります。いずれも交渉に参加する12か国の国益をかけた争闘の場となっています。今回はTPPの本質をできる限り解明します。

・佐藤國彦 先生 茶道裏千家正教授・裏千家札幌茶道教室清風庵主・札幌教員

「一碗で心豊かなひと時を」

日常のお茶で静寂のひと時を過ごしてみませんか。

会場の茶席は様式スタイルで、椅子に座って和菓子とお茶(薄茶)を頂きます。

服装も普段着(洋装)でお出で下さり、気楽に一服を頂いてお帰り下さい。

心からご来会をお待ち致しております。



・下村笑子 先生 札幌認知症の人と家族の会副会長・札幌教員

「認知症あれこれ」

平均寿命が延びると共に多くの問題が起こってきます。私は普通の主婦ですが義母と母の介護で体験的に高齢者に関わっています。認知症と家族の会の活動でばけても安心して暮らせる社会をみんなで築いていきたいと願い活動しています。他人ごとではありません。私たち自身の問題です。みんなで一緒に問題を共有しませんか。